

令和8年度予算について要望書を市長へ提出

横須賀市スポーツ協会は、令和8年度のスポーツ振興に関する重点施策の実現を目指し、8月25日上地市長に対して予算要望書を提出しました。

要望書には、地域スポーツ活動のさらなる充実や、施設の整備・環境向上・世界で活躍する選手との交流機会の創出など、スポーツを通じて市民がより健やかに暮らせる環境づくりに関する項目が盛り込まれています。

当日は、協会役員が市役所を訪問し、斎藤会長から市長へ要望書を直接手渡しました。市長とは現場の課題や今後の展望についても意見交換を行い、引き続き連携して取り組んでいくことを確認しました。横須賀市スポーツ協会では、今後も地域スポーツの発展のため、市民の声を市政へ届け、よりよい環境づくりに努めてまいります。



横須賀市スポーツ協会広報紙 第118号

創立 昭和 10. 11. 3
創刊 昭和 58. 8. 1

発行所 横須賀市小川町 11番地
横須賀市文化スポーツ観光部
編集責任者 会長 斎藤幸次
印刷所 (有)セイキ印刷
横須賀市スポーツ協会 広報委員会
スポーツ振興課 内部

90年間の感謝を込めて



横須賀市スポーツ協会会长

斎 藤 幸 次

スポーツ協会の主な活動と

しては、9月16日に「国民ス
ポーツ大会・全国障害者スボ
ーツ大会出場者」壮行会を実

施し、出場される選手・監督
の皆さまを温かく送り出すこ
とができました。また、10

早いもので2025年も年
の瀬が迫ってまいりました。
今年も順調にスポーツイベン
トが行われたこと、大変うれ
しく思っています。

さて、去る11月3日には、

横須賀市スポーツ協会が創立
90周年という大きな節目を迎
えることができました。これ

もひとえに、本協会に関わっ
てくださったすべての皆さま
のご支援、ご協力の賜物と、
心より感謝申し上げます。

来年1月27日には90周年記
念式典・祝賀会、2月15日に
は三崎水産高等学校（現・海
洋科学高等学校）出身の海洋
冒險家・白石 康次郎氏をお
招きしての記念講演会を予定
しております。皆さんと共に
90周年を祝い合いたいと思
います。

最後になりますが、各種目
協会・連盟の皆様におかれま
して、引き続きご体調には
十分注意いただきながら、共
に進んでいただきたいと考
えております。今後も変わら
ぬご協力のほど、よろしくお
願い申し上げます。

今後も、より多くの方々に
喜んでいただけるよう、役員
一同さらなる努力を重ねてま
ります。

最後になりますが、各種目
協会・連盟の皆様におかれま
して、引き続きご体調には
十分注意いただきながら、共
に進んでいただきたいと考
えております。今後も変わら
ぬご協力のほど、よろしくお
願い申し上げます。

一年の歩みと振り返り

横須賀市スポーツ協会理事長 石渡淳史



師走の候、種目団体の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年も横須賀市スポーツ協会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和7年は、横須賀市スポーツ協会が創立90周年を迎える節目の年となりました。地域スポーツの再活性化とともに、学びの機会にも力を注いだ一年でもありました。特に、スポーツ栄養学の第一人者である鈴木志保子教授（県立保健福祉大学）を講師に迎えた講習会では、アスリートの食事管理や試合時の栄養学について、科学的かつ実践的な知識を多くの参加者が学びました。

また、神奈川衛生学園専門学校との連携による講習会では、身体能力向上とスポーツ障害予防を目的とした内容が展開されました。専門学校の三井専任教員による指導は、指導者・保護者・選手の皆様にとって非常に有意義な学びの場となりました。

そして本年は、「よこすかスポーツフェ

スタ」も盛大に開催され、各種目の体験コーナーを通じて、幅広い世代がスポーツの楽しさを共有する場となりました。多くのボランティアの皆様や種目団体のご協力により、地域の絆を深める貴重な機会となりましたこと、改めて感謝申しあげます。

さらに、11月3日には「第20回 1万メートルプロムナード・ウォーク」を開催し、ヴエルニー公園から横須賀美術館までの海沿いの道を、502名の市民の皆様とともにウォーキングしました。秋晴れのもと、世代を超えた交流と健康づくりの場として、笑顔あふれる一日となりました。

なお、令和8年には創立90周年を記念し、以下の記念事業を予定しております。1月27日には「90周年記念式典」を開催し、これまでの歩みを振り返るとともに、未来への展望を共有する場といたします。

また、2月15日には「記念講演会」を開催し、スポーツを通じた地域づくりや人材育成に関する貴重なお話を伺う機会となります。詳細につきましては、改めてご案内申し上げます。

【出場者は6ページに掲載】
日時 .. 令和7年9月16日(火曜日)
午後6時30分から午後8時
まで

会場 .. セントラルホテル
主催 .. 横須賀市、横須賀市スポー
ツ協会

第79回国民スポーツ大会・第24回全 国障害者スポーツ大会壮行会を開催

横須賀市スポーツ協会では、9月28日から滋賀県で行われる第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHI G A 輝く2025」に神奈川県代表として本市から出場する監督・選手を激励する壮行会を開催しました。

当日は、各競技団体の代表選手や監督、関係者の皆さんのが参加し、市や協会から激励の言葉が贈られました。選手を代表して、谷本一真さん（アーチェリー競技・横須賀総合高等学校）が「応援してくれる皆さんへの感謝の気持ちを胸に、全力で大会に臨みます」と力強く決意表明を行いました。会場には温かい拍手と励ましの言葉があふれ、出場選手たちは大きな期待を胸に、新たな挑戦への決意を新たにし、壮行会は盛会のうちに終了となりました。

横須賀市スポーツ協会では、今後も地域の皆様とともに、選手の活躍を応援してまいります。



第20回1万メートルプロムナード・ウォークを開催しました。

11月3日（文化の日）、恒例となつた「第20回1万メートルプロムナード・ウォーキー」を開催しました。今年は、生涯スポーツ委員会を中心に、多くの関係者の皆さまのご協力のもと、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、健康づくりに親しめる機会として、本大会の準備を進めてまいりました。当日は、秋晴れのさわやかな空のもと、前年を大きく上回る502名の方々にご参加いただきました。参加者の皆さんは、自然豊かな横須賀の景色を満喫しつつ、10kmのコースと3kmのコースに分かれて、それぞれのペースでプロムナードを歩きました。ご家族やご友人同士でのご参加も多く、途中では笑顔や会話があふれ、和やかな雰囲気の中でイベントが進みました。ゴールされた皆さまには、完歩賞として記念品をお渡ししたほか、三崎まぐろやサーロインステーキなど豪華賞品が当たる抽選会も実施し、大いに盛り上りました。また、ゴール会場周辺では観音崎フェスタが同時開催されており、歩き終えた参加者の皆さんのがイベントを楽しむ様子も見られました。1万メートルを歩ききった皆さま、本当にお疲れ様でした。心地よい達成感とともに、横須賀の自然や街並み、そして地域の輪を改めて感じていただけたのではないでしょうか。最後に、本大会を支えてくださった協賛企業・団体の皆さま、ご協力いただいたスタッフの皆さまをはじめ、イベント開催に関わつていただいた全ての方々に心より感謝申し上げます。今後とも市民の皆さまが健康で楽しくスポーツに親しめるよう、引き続き様々なイベントや活動を実施してまいります。皆さまのご参加とご協力を、これからもよろしくお願ひいたします。



すろごす活ツ皆ポすにこツ域今
°し協°動をさー°もれをの今
く力皆を樂まツ今つか通一大会
おをき進しと協後ならがのまち得
願、まめみと会もは横つていきま
い引のて、もは、須ていきま
いきごま支に地賀いきま
た続参いえスポ域市ス
しき加り合ポーまうー
まよとま

また、当日はゲストランナーとして元公務員テナンバーとしても知られるマラソン選手・川内優輝さんも登場し、参加者とともに走ったり、記念撮影や声援に応えるなど、会場の雰囲気をいつそう盛り上げてくださいました。

大会運営には、スポーツ協会から走路員ボランティアなど、多くの関係者が携わりました。安全でスムーズな大会進行を支えていたただいたすべての皆さまに、この場をお借りして心より感謝申します。

今年は約4,700人のランナーが集い、ハーフマラソン、10km、3kmの各種目に分かれて、横須賀の美しい海沿いの景色や街並みを楽ししながら力強い走りを見せてくれました。市内外から多くの方が参加され、沿道にはご家族や友人、地域の皆さん。温かい応援の声が響き、遠方からの参加者から「横須賀の海を見ながら走れるのは本当に気持ちがいい」「市民の応援やボランティアのサポートに元気をもらつた」といった声も寄せられ、横須賀の魅力が広く発信されるイベントとなりました。

第50回よこすか シーサイドマラソン開催

種目団体だより

横須賀ソフトテニス協会

横須賀ソフトテニス協会は1932年（昭和7年）に創設し、2032年（令和14年）100周年を迎えます。

現在、一般クラブ11団体、ジュニアクラブ2団体、および関連団体（横須賀中体連、横三地区高体連、逗子ソフトテニス協会）にて三浦半島のソフトテニス競技を盛り上げようと活動を行つてゐる。特に昨年度より、協会は5つの協会行事（小学生夏季教室FOLLOWUP、小中学合同練習会、高校強化（含む中学）講習会、ジュニア&シニアオープン大会等）を新設し、ジュニア～中学、高校、一般～シニア層へコミュニケーションとネットワークを通じた普及・育成活動の活性化を図り、全世代のソフトテニス愛好家が魅力あるソフトテニスと次世代を担う子供たちが希望に夢を輝かせることができる取り組みを進めている。



横須賀ソフトボール協会

第39回全日本小学生男子ソフトボール大会報告（少年ソフトボール連盟 宮川交立）

令和7年8月2日から、福井県福井市きららパークグラウンド他で、全国48チームが

参加する大会に、神奈川県代表として出場しました。

チーム編成は、6年生8人、

5年生5人の13人で、全員横須賀市内の小学生ソフトボールチームに所属する選手です。

第1試合の対戦

相手は、地元福井県代表の「本郷少年ソフトボールクラブ」チームでした。オールアウエイ状態での試合となりました。1回表、選手に緊張があり、守備が乱れていきなり5点失点のビハインドとなりました。頑張つて4点を返し



たのですが、結果は9対4で1回戦敗退となりました。しかし、対戦相手の「本郷チーム」は、この大会で準優勝しています。全員よく頑張って強敵相手に善戦したと考えています。

ご支援をいただいたスポーツ協会ほかの皆様方に感謝し、報告といたします。

横須賀アーチエリーアーク会

横須賀ジュニアアーチエリーアカデミー(YJAA)
見事な躍進を遂げる

令和7年9月20日と21日の二日間、静岡県のつまごいリゾートで開催された。

アーチエリーアーク会の全日本

小中学生大会には、全国から270名を超える選手が集結した。

雨が予想されていたも

の、当日は幸いにも天候に恵まれ穏やかな天候の下、選手達は日頃の練習の成果を発揮した。YJAAからも13名の選手が全6種目に参加し、若いながらも堂々とした射技を披露。

緊張感漂う中でも、落ち着いた構えと安定したリズムで矢を放つ姿に、コーチ陣も一安心。予選ラウンドでは、1YJAAからも13名の選手が全6種目に参加し、若いながらも堂々とした射技を披露。

この結果は、日々の地道な練習の積み重ねと、チーム一丸となつた努力の現れです。

大会を終えた選手たちの表情には、達成感と次の意欲があふれていた。

コーチ陣は「結果も大切だが、それ以上に大会を通じて得た経験が次成長につながってくれれば」と気持ちを新たにしました。

静岡の青空の下で放たれた一矢が、未来への確かな一步となつた大会でした。アーチエリーアーク会の門を叩いてみてはいかがですか。

Pilot86arrow@willcom.com
に連絡してみてください。

仲間たちの声援が一体となつてチームを支えた。
そして迎えた決勝トーナメントでは、YJAAの選手たちが大健闘を見せた。

技術と精神力で次々と勝ち進み、最終的に優勝1名、準優勝1名、3位1名という輝かしい成績を収めた。

**横須賀市弓道協会**

会長 神代 真琴

事務局：高橋 智枝

TEL：090-3357-6131

横須賀市ゲートボール連合

会長 野田 一彦
事務局 島内 年子

〒239-0828
横須賀市久比里1-6-10 島内方
Tel 046-841-4626

横須賀卓球協会

会長 鈴木 一

事務局：〒238-0052 横須賀市佐野町1-15

TEL/FAX：046-851-4746
(永島 猛)

横須賀ソフトテニス協会

会長 齋藤 好弘
理事長 石上 明伸

事務局：〒239-0807 横須賀市根岸町4-33-6
Tel 046-801-6675

**第79回国民スポーツ大会(9月28日～10月8日 滋賀県)
第24回全国障害者スポーツ大会(10月25日～10月27日 滋賀県)
「わたSHIGA輝く」(14競技36名)**

国民スポーツ大会				(敬称略)	全国障害者スポーツ大会				(敬称略)
<u>自転車競技</u>					<u>水泳競技</u>				
女子 SC/ロード	選 手	大 堀 博 美	イナーメ信濃山形		監 督	細 井 成			
少年女子A	選 手	永 井 咲 弥	県立横須賀高等学校		選 手	直 井 駿 弥	武山支援学校津久井浜分教室		
少年女子A	選 手	前 田 二 千 翔	三浦学苑高等学校		選 手	宮 崎 優 香	イオン久里浜店		
<u>陸上競技</u>					<u>フライングディスク競技</u>				
少年男子	選 手	久保園 凱 穂	三浦学苑高等学校		監 督	加 藤 明 成			
少年男子	選 手	松本 ランビック	三浦学苑高等学校		選 手	森 秀 樹	さくらの里		
少年女子	選 手	マカリスター アイーン 心寧	横浜隼人高等学校						
<u>バレー・ボール競技</u>					<u>陸上競技</u>				
少年男子	選 手	鈴 木 郁 武	東海大学付属相模高等学校		選 手	柏 崎 嘉 則	ヒューマンソシアイ株式会社		
少年男子	選 手	亀 川 龍 之 介	横浜清風高等学校		選 手	高 張 純 斗	みずほビジネス・チャレンジ株式会社		
					選 手	嶋 尾 拓 斗	株式会社アルファ		
<u>バスケットボール競技</u>									
少年男子	選 手	吉 元 異 海	横浜市立横浜商業高等学校						
<u>レスリング競技</u>									
成年男子	監 督	横 山 巧	県立横須賀大津高等学校						
少年男子	選 手	竹 内 健 太 郎	日本大学藤沢高等学校						
少年男子	選 手	金 子 日 明	日本大学藤沢高等学校						
<u>卓球競技</u>									
少年男子	選 手	吉 元 異 海	横浜市立横浜商業高等学校						
<u>ソフトボール競技</u>									
少年男子	選 手	芳 垣 映 虹	横須賀学院高等学校						
少年男子	選 手	板 倉 澄	横須賀学院高等学校						
少年男子	選 手	井 上 権	横須賀学院高等学校						
<u>剣道競技</u>									
少年女子	選 手	向 井 優 依	湘南学院高等学校						
<u>カヌー競技</u>									
少年男子	選 手	原 口 獅 心	陸上自衛隊高等工科学校						
少年男子	選 手	新 岡 真 輝 斗	陸上自衛隊高等工科学校						
<u>アーチェリー競技</u>									
監 督		大 竹 肇	日商電版						
少年男子	選 手	谷 本 一 真	横須賀市立横須賀総合高等学校						
少年男子	選 手	海 津 悠 人	横須賀市立横須賀総合高等学校						
<u>銃剣道競技</u>									
成年男子	選 手	佐々木 聰	陸上自衛隊						
少年男子	監 督	出 町 太 一	陸上自衛隊						
少年男子	選 手	志 賀 博 太 郎	県立横浜修悠館高等学校						
少年男子	選 手	馬 場 怜 音	県立横浜修悠館高等学校						
少年男子	選 手	前 川 礼	県立横浜修悠館高等学校						
<u>ボウリング競技</u>									
成年女子	選 手	菅 野 沙 織	ミキハウス						
少年男子	監 督	中 尾 了	米海軍横須賀基地						